

科目名	現代東南アジア論	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	瀬戸 裕之		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-2-350005	国際学部A：グローバルな課題に批判的な問題意識をもち、国境を超えた個別具体的問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得していること			
授業の目的	東南アジアは、多様な文化を持ち、日本とも地理的に近い地域です。一方で、この地域は、冷戦期に激しい戦争を経験し、冷戦後に経済発展を遂げながらも、民主化や人権保障について多くの課題を抱えています。本講義では、東南アジアでの国家形成、冷戦、地域統合、民主化の動きを歴史的に学ぶことによって、東南アジアの視点から見た国際社会をあり方や課題を知り、東南アジアと日本の関係について理解することを目的とします。				
学修到達目標	東南アジアにおける国家形成、冷戦・地域統合・グローバル化などの世界の動きの中での変化、経済発展や地域統合の動き、民主化や人権保障などの課題、日本との関係について学ぶことで、東南アジアを日本との対等なパートナーとしてみる視点を身に付けることができる。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	導入
第2回	東南アジアを学ぶ視点
第3回	東南アジア世界の形成

第4回	東南アジアの植民地形成
第5回	植民地下での社会変容
第6回	東南アジア諸国の独立
第7回	東南アジアでの冷戦と戦争
第8回	冷戦下での地域紛争
第9回	東南アジアの開発主義体制
第10回	民主化の進展と課題
第11回	ASEANの形成
第12回	ASEANの拡大
第13回	経済統合と開発計画

第14回	東南アジアが抱える課題
第15回	日本と東南アジアの関係
第16回	期末レポート

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。テレビ・新聞・インターネットを通じて関連事項について予習する。
【復習】時間・内容	2時間。配布資料の見直しと不明点を調べ理解する。

成績評価	
評価基準・方法	各回への出席とコメントカードの提出（50%）、期末レポート（50%）の評価。
フィードバック方法	各回に学生が提出したコメントカードを紹介し、学生から出された質問やコメントに対して説明する。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	
教科書/参考書	指定しない。参考すべき図書は、授業中に紹介する。
受講上の留意点等	2年次前期に受講することをお勧めします。受講生は、筆記用具を持参してください。
JABEE	